

## 巻付け耐火被覆材の選定方法〔柱：早見表〕

本早見表は耐火認定書に記載されている鋼材の厚さと幅の関係が考慮されていないので、鋼材によっては認定に当てはまらない場合があります。よって最終的な認定の適否については適合判定ソフトで確認して下さい。

### 【柱の表の見方・注意事項】

- 鉄骨サイズはすべての寸法値（高さ、幅、厚さ等）が表数値以上のものが対象であり、いずれかの寸法値が表数値未満の場合は下位の基準に従う。
- 合成耐火構造の壁厚さおよび壁の離隔距離については「標準施工仕様一覧表」で確認すること。
- 丸形鋼管の鉄骨サイズ  
丸形鋼管の取り扱いは、角形鋼管の耐火構造認定に従う。適用鉄骨サイズは認定書記載の角形鋼管同等以上となり、鉄骨の断面寸法（一辺長と直径）および断面積が同数値以上であることが必要である。  
〔例〕□-300×300×9（断面積：102.7cm<sup>2</sup>）と同等の丸形鋼管は以下の①または②以上が必要  
①板厚が9mmで断面積は102.7cm<sup>2</sup>の丸形鋼管…φ373×9  
②直径が角形鋼管の一辺長300mmと等しく、断面積が102.7cm<sup>2</sup>の丸形鋼管…φ300×12

（単位：mm）

### ■ 柱□、○ 耐火1時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分		
	□柱、○柱		
	耐火1h		
	単体	ALC合成	PC合成
下表記寸法以上	20	20	20
□- 300 × 300 × 9 上記断面積以上 かつ φ382×9			40
□- 150 × 150 × 9 上記断面積以上 かつ φ191×9	40	40	40
□- 75 × 75 × 6 上記断面積以上 かつ φ96×6	—	—	—
上表記寸法未満	—	—	—

### ■ 柱H 耐火1時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分		
	H柱 箱貼		
	耐火1h		
	単体	ALC合成	PC合成
下表記寸法以上	20	20	40
H- 300 × 300 × 10 × 15			
H- 198 × 99 × 4.5 × 7	40	40	40
H- 125 × 125 × 6.5 × 9	—	—	—
上表記寸法未満	—	—	—

### ■ 柱□、○ 耐火2時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分		
	□柱、○柱		
	耐火2h		
	単体	ALC合成	PC合成
下表記寸法以上	40	40	40
□- 300 × 300 × 16 上記断面積以上 かつ φ382×16			
□- 300 × 300 × 12 上記断面積以上 かつ φ382×12	65	—	—
□- 150 × 150 × 9 上記断面積以上 かつ φ191×9	—	—	—
上表記寸法未満	—	—	—

### ■ 柱H 耐火2時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分	
	H柱 箱貼	
	耐火2h	
	単体	
下表記寸法以上	40	—
H- 300 × 300 × 10 × 15		
上表記寸法未満	—	—

### ■ 柱□、○ 耐火3時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分	
	□柱、○柱	
	耐火3h	
	単体	
下表記寸法以上	65	—
□- 300 × 300 × 16 上記断面積以上 かつ φ382×16		
上表記寸法未満	—	—

### ■ CFT柱 耐火2・3時間

鉄骨サイズ	構造・耐火区分		
	CFT柱		
	□柱、○柱		
	耐火2h	耐火3h	
下表記寸法以上	20	40	—
コンクリートの指定なし □- 450 × 450 × 16 φ 450 × 16			
JIS品以外の コンクリート □- 450 × 450 × 12 φ 450 × 12	—	—	—
JIS品の コンクリート □- 300 × 300 × 9 φ 381 × 9	—	—	—
上表記寸法未満	—	—	—